

令和7年11月定例記者会見

令和7年10月30日（木）午前11時00分～

<主な発表項目>

○チューリップ公園 KIRAKIRA ミッション2025

砺波チューリップ公園周辺を約10万球の光で装飾する「チューリップ公園 KIRAKIRA ミッション2025」を12月1日（月）から12月25日（木）まで開催する。

今年のテーマは「KIRAKIRA Present For You」。新たにチューリップオブジェを使用した「光のチューリップ畑」や「巨大キラキラツリー&プレゼントBOX」が登場する。

「点灯カウントダウン」を12月1日（月）18時～チューリップ公園北門付近で行う。

12月21日（日）には、16時30分～文化会館多目的ホールにおいて「となみミュージカルキッズクリスマス公演」を、18時～チューリップ公園北門付近において「ランタンとイルミのコラボ」を実施する。

○イルミネーション装飾ボランティア「光の応援団」募集

イベントでは、協賛金などイベント成功のために協力して下さる「光の応援団」を大募集しており、「チューリップ公園 KIRAKIRA ミッション2025」に向けて、LEDイルミネーションの装飾にご協力いただけるボランティアを募集する。

実施日時は11月22日（土）8時30分～11時30分で、砺波チューリップ公園及びその周辺で装飾を行う。例年、企業・事業所や団体、高校生の皆さんにご協力をいただいている。

○一般社団法人東京臨海副都心まちづくり協議会包括連携協定締結式

11月13日（木）10時30分～東京都江東区青海のシンボルプロムナード公園セントラル広場において、一般社団法人東京臨海副都心まちづくり協議会との包括連携協定締結式を行う。

東京・お台場で、毎年春に開催される臨海副都心チューリップフェスティバルにおいて、昨年、初めて花壇の土壌改良材に本市の剪定枝リサイクル堆肥を使用していただいたことを契機に、包括連携協定を締結する運びとなった。

主な取り組みとして、剪定枝リサイクル堆肥の活用や砺波市産チューリップ球根の活用、観光施設での情報発信などを考えている。

○令和8年度砺波市当初予算編成

令和8年度予算においては、引き続き「第2次砺波市総合計画」に基づき、住みよさを更に拡充させ、より魅力的で活力ある安全で安心なまちづくりを展開する。

予算編成に先立ち、各課の事業ヒアリングを行い総合計画実施計画を策定して、今後5年間に予定する事業と予算規模の見通しを示したところ、令和8年度総合計画実施計画では事業費ベースで253億円余り、一般財源ベースでは177億円余りとなった。

これは主に人件費や物価高騰の影響で経常経費などが増大しているためで、やむを得ない面があるが、今後の予算編成のなかで更に事業のスリム化に努めるとともに、必要に応じて財政調整基金等を活用し、予算編成を進める見込みである。

また、今回は既存事業との組替えにより新たに事業創出する「リボーン推進枠」を設けることで、硬直化する予算編成においても、職員のチャレンジ意欲を刺激し新たなアイデアを引き出したい。